



G8ユース・サミット

# G8首脳に向けた 若者たちの声明文



ロック・アーン

2013年5月15・16日

ファーマナ・トラスト





## ● はじめに

若者はわれわれの宝だ。彼らは世界をよりよくし、大義に基づいた公正な未来を実現する真の変革を起こそうと情熱を燃やしている。当団体ファーマナ・トラストは、2013年6月に開催されるG8サミットをまたとない好機と捉え、北アイルランドならびにアイルランド共和国の青年100名を募集し、彼らに自分たちの声を世界のリーダー達に届ける機会を与えたいと考えた。

後にG8代表が喫緊の国際問題に関して意見を交わすことになるその実際の会場が、5月15、16両日、フューチャー・サーチ・ネットワークのサンドラ・ジャノフ教授のサポートの元、ユニークかつ創意工夫に富んだプロセスを通して、若者たちが建設的な未来を想像・創造する場へと生まれ変わった。キャロライン・ケイシー、カナック・マニ・デキシット両氏のスピーチに刺激され、若者たちの日ごろ思い描いている夢や思いが、絶対に実現させたい目標へと変わっていった。最初から青年たちは、自分たちが声なき人々を代弁しているのだという責任を自覚していた。まれにみるほど充実かつ成熟した議論が展開された。

青年たちはまず、G8サミットの議題すなわち**貿易、税制、透明性向上の問題**について検討した。基本原則に忠実に、G8がこれらの課題に世界規模で優先的に取り組まなくてはならない背景を彼らは把握した。議論を進めるうちに、参加者同士が共通に問題視する事柄が明らかになっていった。さらにそれらの緊急性・重要性を精査し、4つの課題、すなわち、**平等、貧困、保健医療、平和**が最優先課題として洗い出された。彼らは暫定的な声明文を、英国キャメロン首相代理テレサ・ヴィリアーズ国務大臣、米国グレッグ・バートン総領事を含むG8各国の代表ならびにEU、アイルランド共和国政府、地元ファーマナ州議会・市民団体・キリスト教会各代表に手渡した。声明文を受け取った代表全員が、若者たちがこの声明を作り上げたプロセスの重要性を認識し、彼らの熱意のこもったメッセージが世界の代表に届けられるべきであることを認めた。英国務大臣、米国総領事、現在EU議長国を務めるアイルランド首相官邸代表は、それぞれ暫定声明文を自国の首脳に送付し、サミット場で最終声明文が手渡されることを伝えると約束した。

G8ユース・サミットは関わる者すべてにとって大きな学びとなった。私たちは、素晴らしい次世代リーダー達の誕生を目撃しているのだという深い感慨を抱いた。ファーマナ・トラストは、せつかくのこの熱意の炎が消えることのない

いよう見守り続け、60名を超える青年たちが国際援助活動に参加できるように取り計らい、2014年には"再会"サミットを開催することを約束した。この試みに関わることができたことは大きな喜びであり、この重要な出来事がどのような成果を生んでいくのか、非常に楽しみである。青年たちはみな、自分たちの声が本当に届くのだろうかと疑問に思っている。世界が襟を正して彼らの声に耳を傾ける、これが何よりも重要なことではないだろうか。

ジョアンナ・マクヴェイ

ファーマナ・トラスト代表



- この声明文は、**G8ユース・サミット**で、現在、世界で最も緊急かつ重要な課題であるとされた問題についてまとめたものです。

2013年5月、ファーマナ州のロックアーン・ゴルフリゾートで2日間に渡る集いが開催されました。16歳から25歳までの100名の若者が北アイルランドならびにアイルランド共和国から集まり、自分たちが青年として、今日の世界で最も重要かつ緊急であるとする課題について意見交換する機会を得ました。

私たちは、**G8首脳**のみなさんにぜひ私たちの意見を聞いていただきたいのです。

私たちは、ユース・サミットの議題を自分たち自身で選定することから始めました。私たちは今年の**G8サミット**で貿易、税制そして透明性向上が議題になっていること、そしてこれらの問題の重要性を理解しています。しかし、私たちは目の前の経済危機のさらに先にあるものに目を向けました。すると不平等、飢餓、防ぐことができたはずの死、そして不正義といった問題が見えてきました。私たちは過去を振り返り、現状を見直し、未来を予測しました。さらに、私たちは世界的な潮流や各地で起こっている出来事をつなぎ合わせ、自分たちが生きているこの世界の地図を描き直してみました。そして、もしこれらの問題に今真剣に取り組むなら、10年後にはこの世界がどうなっているか想像してみたのです。みなで協力して、私たちは自分たちが望む世界を創造的に描き出しました。非常に難しい、けれど意義のある議論が展開されました。この議論を通して私たちは、最も重要な課題として以下の4つを選択することに合意しました。

平等

貧困

保健医療

平和





## ● 平等

私たちは、すべての人が、人種、性別、性的指向、宗教、民族、年齢、能力の有無、障がいの有無に関係なく平等に生きられる世界を求めます。

あまりにしばしば差異にばかり焦点を当てるメディアのせいで、逆に緊張が作り出されてしまう場合があります。

私たちは各国政府、メディア、そして社会全体が、差異を超えて私たちの中にある共通点を見出し、それを育むことにもっと力を注ぐことを求めます。

人は、偏見や迫害への恐れなしにありのままの自分として生きられるべきです。





## ● 貧困

私たちは各国政府に、国内においても世界規模においても、富のより公平な分配が行われるよう、最大限の努力をしていただきたいと思います。

十分な食料、きれいな水、住まいと衣服を得ることは、すべての人にとっての基本的人権です。

子どもたちが成長し、人間として花開き、社会や経済に貢献できるようになるには、教育が非常に重要です。

正義と持続可能な発展が、貿易システムならびにその実務の要となるようにするには、公正な貿易（フェアトレード）が不可欠であると信じます。それによって、すべての人が自分の仕事を通して尊厳のある生活を維持し、自己の可能性を十全に発揮できるようになるのです。





## ● 保健医療

私たちは世界中で、無料、かつ、すべての人にアクセス可能なユニバーサル・ヘルスケアが必要であると信じます。

住む場所やお金の有無で治療が受けられるかどうかを左右されるべきではありません。

ヘルスケアが金儲けのための産業ではなく、基本的人権としてこの世界で実現するよう、各国政府のより一層の取り組みを求めます。

また精神面での健康は、肉体的健康と等しく重要性を認められるべきです。

私たちは世界中で精神保健医療サービスが受けられるようになること、精神的な病気に与えられる差別偏見をなくすためにより一層の努力がなされることを求めます。







## ● 平和

私たちは紛争解決の手段として、交渉・対話継続に大きな努力を注ぐようすべての政府に求めます。

軍事介入は最終手段となるべきであり、拙速に選択されるべきではありません。

私たちは核と化学兵器の脅威のない世界を求め、すべての政府にこれらの兵器と製造設備を廃棄・閉鎖するよう求めます。

長期泥沼化している紛争の解決と子ども兵士の解放にもっと大きな努力が払われるべきです。

私たちは無人機利用を通しての戦争のロボット化と、民間人の無差別殺戮に非常な危惧を抱いています。

私たちは各国政府に、人命をより一層尊重し、将来の世代により安全な世界を残そうという姿勢を示していただきたいと思います。







- “後はすべて、あなた次第です。私たちはG8のリーダーであるあなた方に、私たちの主張に耳を傾けてほしいのです。あなた方が動かす世界について、私たちが心配していることを知ってほしい。あなた方が持てる力のすべてを使って、私たちが夢に描く世界を作り出して頂きたいのです。最終的に未来を担うのは私たちです。その未来がどうなるかは、あなた方の手にかかっているのです。”

G8ユース・サミット代表



ローリー・マックスカー  
ファーマナ・トラスト  
ファーマナ・ハウス  
ブロードメドウ・プレース、  
エニスキルン、  
ファーマナ州、  
北アイルランド、

BT74 7HR  
(+44)2866 320210